

平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

1. 事業の成果

A 環境教育の事業

A.1 環境教育プログラム研究開発・実践活動・発信活動

A.1.1 環境教育プログラムの研究開発

- 年間 7 回開催した環境学習体験会（プログラムづくりワークショップ）を軸に環境教育のプログラムづくりが進められた。内容は以下の通り。

2018 年度環境学習体験会（プログラムづくりワークショップ）

- 04 月 29 日（日）プログラム体験「季節の自然で遊ぼう」
・教材「季節のふしぎ発見カード」をつくろう。
- 06 月 24 日（日）プログラム体験「お日さまとなかよし」「風となかよし」
・創作童話「キラキラ魔法のピッカリコとくらやみ魔法のマックラコ」の紙芝居をつくろう。
- 09 月 30 日（日）プログラム体験「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」
・秋の落とし物を使った工作に挑戦しよう。
- 10 月 21 日（日）プログラム体験「綿から糸を紡ごう」
・糸から布をつくる活動をプログラム化しよう。
- 01 月 27 日（日）プログラム体験「水となかよし」
・Project WET のアクティビティを体験しよう。
- 02 月 24 日（日）プログラム体験「大豆ってすごいぞ」「綿を育てよう」
・大豆からきなこをつくる体験をしてみよう。
- 03 月 24 日（日）プログラムづくり体験「学校の木を決めよう」
・身近な公園の木と親しもう。



4 月 29 日 環境学習体験会
ネイチャーゲームの体験



4 月 29 日 環境学習体験会
教材づくり体験



紙芝居「キラキラまじよのピッカリコ
くらやみまじよのマックラコ」

環境学習体験会全体では、紙芝居などの教材やパッケージづくりのワークショップ、自然体験や手仕事のプログラムを始めとする既存の環境学習の手法を体験できる学習会形式など、多岐にわたる取り組みを試すことができた。東京家政大学 宮地ゼミ

との連携もあり、計7回の活動に101人（うちスタッフ20人）が参加し、活発な議論が行われた。一方で、他大学の学生や社会人の参加者募集には課題を残した。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
回数	-	-	-	-	-	-	-	7	8	6	8	7
スタッフ数	-	-	-	-	-	-	-	74	82	74	166	101
1回あたり	-	-	-	-	-	-	-	10.6	10.3	12.3	20.8	14.4

本活動を通じては、「キラキラ魔法のピッカリコとくらやみ魔法のマックラコ」の紙芝居も作成した。教材の洗練化や新たなプログラム案の検討の場としては広がりが見られたものの、新たな参加者の受け皿になる役割を担いきれなかった点は課題である。

- 昨年度より実施している環境学習プログラム研究会は、臨機応変に実施できるプログラム開発の場となった。作業日も含めて計4回の活動に17人が参加した。今後、現役の教員などの参加が増える活動へと推移させていきたい。
- 保育園向けプログラム開発は、出張授業数の増加にあわせた洗練化が主となった。

	自然体験活動 ほか		
	導入アクティビティ	紙芝居型プログラム	その他アクティビティ
保育園	キロリのおにごっこ コウモリとガ ※ 落ち葉じゃんけん ※ 音いくつ ※	いも虫のたからぶくろ 木の精キロリのみみつのいのり どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ はらっぱのかくれんぼ大会 風となかよし 森と子どものひみつ作戦 （木の表情ってどんなだろ） 土のこびと	同じものはどこにある

※ ネイチャーゲーム アクティビティ を利用した活動

- 小学校でのプログラム開発は、出張授業数の増加にあわせた洗練化が主となった。その中でも、「お日さまとなかよし」を低学年向けに再構築した鏡を使ったプログラム、「綿から糸を紡ごう」の応用編で「糸から布をつくろう」、大豆関係のプログラムとしてきなこづくりのプログラムづくりに取り組んだ。これらは、今年度の環境学習体験会での検証を踏まえ、次年度プログラムとして完成させていく方向である。

		自然体験活動	食と暮らし	エネルギー教育
小学校	低	④ 季節の自然で遊ぼう		⑭ 風となかよし
	中	⑩好きな色はどこにある	⑲大豆ってすごいぞ	⑯お日さまとなかよし
		⑪ そっとのぞいて見てみよう	② 学校産のとうふを作ろう	⑰ 水となかよし
中学校	高	⑤ 学校の木を決めよう	⑧ 手前みそを作ろう	
		① ヤゴ救出大作戦	⑳ 綿を育てよう	
			⑱ 綿から糸を紡ごう	
		⑥ わたしの木・ぼくの木	③ 食べものはどこから	⑫ 放射線から身体を守る生活の仕方
			⑦ ペットボトルの水	⑬ エネルギー源を考える
			⑨ 旬の野菜を調べよう ※要改定	⑮ 50年後の板橋を考えよう

- ニュース発送作業を兼ねた定例のワークショップも継続的に実施した。11回の活動で、延べ63人の参加があった。1回あたりの参加者は5.7人となり、昨年の6.2人から若干干減となった。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
回数	-	-	17	14	18	22	22	17	13	13	11	11
スタッフ数	-	-	134	85	91	115	108	98	88	73	68	63
1回あたり	-	-	7.9	6.1	5.1	5.2	4.9	5.8	6.8	5.6	6.2	5.7

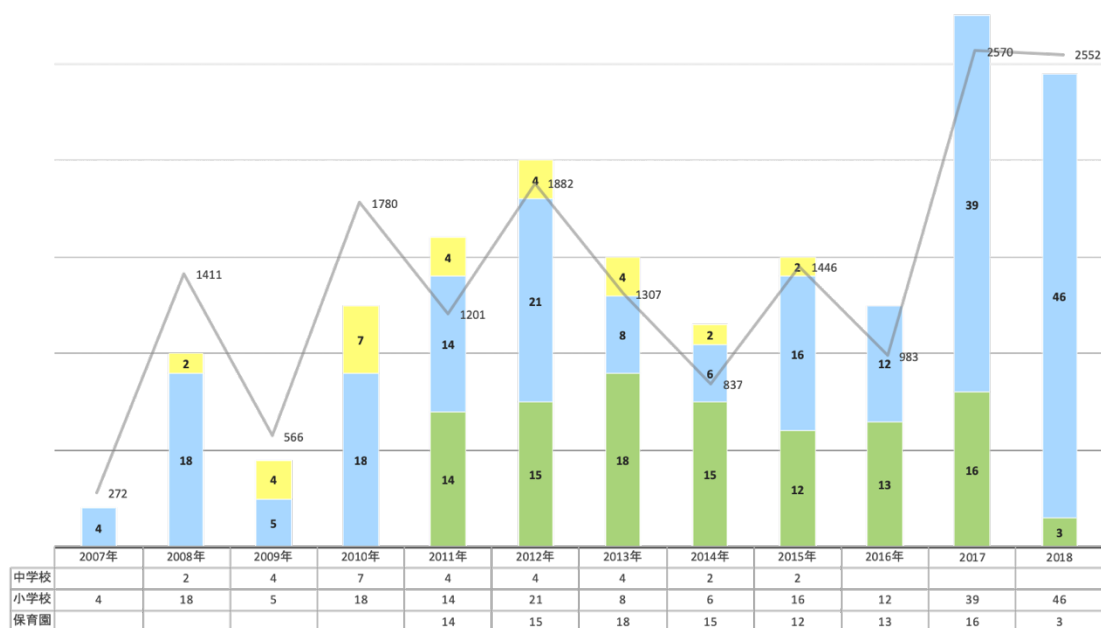
A. 1.2 環境教育プログラムの発信活動

- 2015年に出版した「みんなワクワク どんどん使える センスオブアースの環境教育実践集」の販売に関しては課題が残った。
- HP版プログラムバンクを適宜更新した。
- 板橋区内にある全ての保育園に向けて、季節のおすすめプログラム集を発送した。季節に応じた自然体験を紹介するとともに、出張授業の申し込みのきっかけとなった。
- 小学校向けの環境教育プログラムに関する資料を新たに作成し、発信した。エコポリを通じた広報活動などとあわせて出張授業の増加につなげた。

A. 1.3 環境教育プログラムの実践活動

- 24の保育園・小学校で、年間49回（うち4回が寺子屋）の出張授業を実施した。2,552人（うち96人が寺子屋指導）の園児・児童・生徒に環境教育の機会を提供することができた。この結果、これまでの累計で、347回の授業を実施し、その対象人数は17,149人となった。昨年度と比較し、回数こそ若干の落ち込みが見られたものの、対象者数は昨年とほぼ並ぶ数となった。

昨年度から始まったエコポリスセンターからの委託事業により、上記49件のうち32件がエコポリスセンター経由の申し込みであった。





4月26日 出張授業
「そっとのぞいてみよう」



6月14日 出張授業
「水となかよし」



10月9日 出張授業
「そっとのぞいてみよう」



11月14日 出張授業
「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」

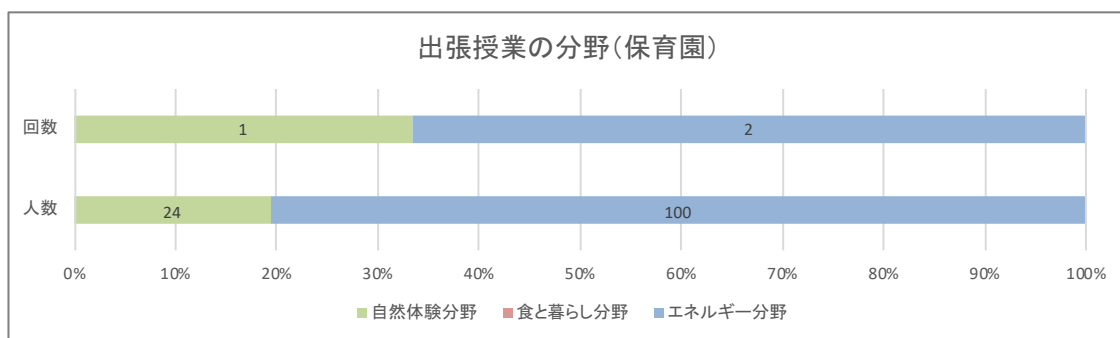


11月20日 出張授業
「手前みそをつくろう」



11月21日 出張授業
「季節の自然で遊ぼう（秋～冬）」

- 保育園における取り組みは、3園で計3回に及び、その対象者数は124人となった。プログラムの内訳では、エネルギー教育分野の「風となかよし」が2回、自然体験分野の「どんぐりころころ お山はおおさわぎ」が1回となった。



保育園での実践の内訳は以下の通り。

日付	保育園・幼稚園名	対象(人数)	プログラム名	備考
06月05日	板橋区立西前野保育園	3～5歳児(62人)	風となかよし	
11月14日	第二たつご保育園	4・5歳児(24人)	どんぐりコロコロ	
12月05日	高島平つくし保育園	4・5歳児(38人)	風となかよし	

保育園では、1園(私立)で新たな実践を行った。その結果、対象となった保育園・幼稚園は3園(区立2園・私立1園)であった。区立保育園(公設民営含む)・区立幼稚園全42園に対して、これまでの活動を総合すると、31園で授業を実践しており、その広がりには約74%に至っている。

相生	赤塚	赤塚新町	あさひが丘	板橋	大谷口
大山西町	かないくぼ	上板橋	紅梅	小桜	さかうえ
坂下三丁目	志村橋	新河岸	高島平あやめ	高島平くるみ	高島平けやき
高島平さつき	高島平すみれ	高島平つくし	高島平つばみ	高島平もみじ	東新
ときわ台	中板橋	仲宿	西台	西前野	蓮根
緑が丘	みなみ	南前野	向台	向原	弥生
ゆりの木	若木	こぶし	にりんそう	高島幼稚園	新河岸幼稚園
2018年度 実施		2018年度 新規開拓		過去の実施	

※ 2018年度実施の第二たつのご保育園は私立保育園

※ 過去実施の ひまわりキッズガーデン城山・ひまわりキッズガーデン大原・栄町保育園・志村さかした保育園・麦の子保育園・やまと保育園・つつじ保育園・中板橋さくらさく保育園 は私立保育園

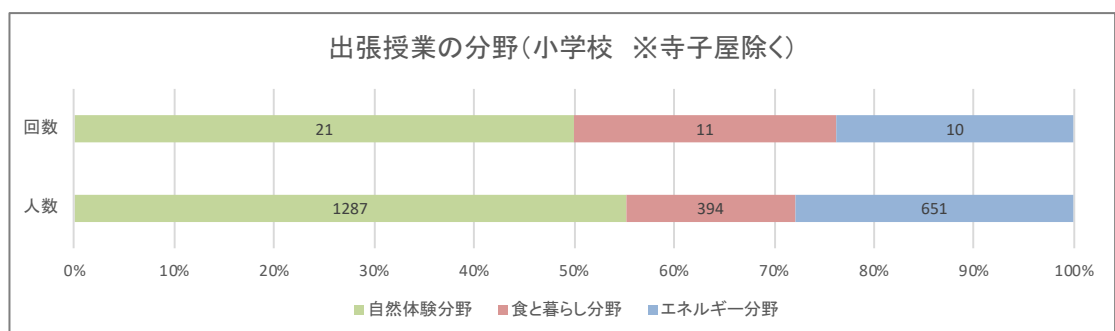
- 小学校における取り組みは、21校で計46回（うち4回が寺子屋）に及び、その対象者数は2,428人（うち96人が寺子屋）となった。

プログラムの内訳では、自然体験分野の「季節の自然で遊ぼう」が各季節や公園などを用いる形で発展的に実践されたことで計10回と最も多く行われた。ほかに、「そっとのぞいてみてみよう」を8回、自然工作の「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」を3回行い、自然体験分野での取り組みは計11回となった。

食と暮らし分野では、「手前みそを作ろう」が3回、「学校産のとうふをつくろう」が3回に加え、大豆栽培の導入授業である「大豆ってすごいぞ」を2回実施した。「綿から糸を紡ごう」の1回、「食べ物はどこから」の2回を含め、ものづくりに関わるプログラムの実践が計11回となった。

エネルギー教育分野では、「風となかよし」が7回、今年度初めての実践となった「水となかよし」が1回。あわせて高学年向けの「50年後の板橋を考える」が2回を数えるなど、計10回となった。

あわせて、出張授業の延長線として、昨年度同様、前野小学校の寺子屋指導を4回行った。内容は、「そっとのぞいてみてみよう」「風となかよし」「木の表情ってどんなだろ」「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」で、計96人が参加した。



小学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	学校名	対象(人数)	プログラム名	備考
04月19日	板橋区立志村第二小学校	2年生(96人)	季節の自然で遊ぼう	
04月21日	板橋区立北前野小学校	3年生(45人)	そっとのぞいてみてみよう	
04月26日	板橋区立蓮根第二小学校	3年生(99人)	そっとのぞいてみてみよう	
05月14日	板橋区立志村第六小学校	6年生(67人)	50年後の板橋を考えよう	
05月17日	板橋区立板橋第二小学校	4年生(34人)	学校の木を決めよう	
05月19日	板橋区立志村第三小学校	1・2年生(113人)	季節の自然で遊ぼう	
05月19日	板橋区立前野小学校	参加者(24人)	そっとのぞいてみてみよう	寺子屋
05月21日	板橋区立志村第六小学校	6年生(66人)	50年後の板橋を考えよう	
05月29日	板橋区立高島第五小学校	3年生(26人)	大豆ってすごいぞ	
05月31日	板橋区立板橋第二小学校	4年生(34人)	そっとのぞいてみてみよう	
06月09日	板橋区立前野小学校	参加者(24人)	風となかよし	寺子屋
06月13日	板橋区立上板橋第四小学校	3年生(57人)	そっとのぞいてみてみよう	
06月21日	板橋区立上板橋第二小学校	3年生(51人)	大豆ってすごいぞ	
06月25日	板橋区立志村第二小学校	1年生(89人)	季節の自然で遊ぼう	
06月28日	板橋区立志村第二小学校	2年生(61人)	そっとのぞいてみてみよう	
07月13日	板橋区立上板橋小学校	3年生・5組(54人)	手前みそを作ろう	
07月17日	板橋区立志村第一小学校	1年生(69人)	季節の自然で遊ぼう	
09月15日	板橋区立板橋第二小学校	1年生(33人)	風となかよし	
09月22日	板橋区立志村第三小学校	1年生(64人)	風となかよし	
09月27日	板橋区立志村第二小学校	2年生(96人)	風となかよし	
10月04日	板橋区立板橋第二小学校	1年生(33人)	季節の自然で遊ぼう	
10月09日	板橋区立北前野小学校	3年生(45人)	そっとのぞいてみてみよう	
10月16日	板橋区立高島第六小学校	1年生(27人)	どんぐりコロコロ	
10月18日	板橋区立高島第六小学校	1年生(26人)	どんぐりコロコロ	
10月20日	板橋区立高島第三小学校	2年生(62人)	そっとのぞいてみてみよう	
10月20日	板橋区立前野小学校	参加者(24人)	木の表情ってどんなだろう	寺子屋
10月27日	板橋区立富士見台小学校	2年生(59人)	風となかよし	
10月30日	板橋区立志村第一小学校	5年生(40人)	食べ物はどこから	
10月31日	板橋区立志村第一小学校	5年生(39人)	食べ物はどこから	
11月02日	板橋区立高島第六小学校	1年生(26人)	どんぐりコロコロ	
11月13日	板橋区立上板橋小学校	3年生(31人)	学校産のとうふを作ろう	
11月17日	板橋区立赤塚小学校	1年生(110人)	季節の自然で遊ぼう	
11月17日	板橋区立前野小学校	参加者(24人)	どんぐりコロコロ	寺子屋
11月20日	板橋区立高島第五小学校	3年生(26人)	手前みそをつくろう	
11月21日	板橋区立志村第二小学校	1年生(89人)	季節の自然で遊ぼう	
11月27日	板橋区立板橋第一小学校	3年生(31人)	学校産のとうふを作ろう	
11月28日	板橋区立板橋第一小学校	3年生(31人)	学校産のとうふを作ろう	
12月13日	板橋区立志村第二小学校	2年生(96人)	季節の自然で遊ぼう	
12月15日	板橋区立志村坂下小学校	1年生(76人)	風となかよし	
01月15日	板橋区立赤塚新町小学校	1年生(38人)	季節の自然で遊ぼう	
01月19日	板橋区立新河岸小学校	1年生(38人)	季節の自然で遊ぼう	
01月22日	板橋区立板橋第六小学校	1年生(58人)	風となかよし	
01月30日	板橋区立北前野小学校	3年生(45人)	綿から糸を紡ごう	
02月16日	板橋区立赤塚新町小学校	1年生(38人)	風となかよし	
02月19日	北区立滝野川第二小学校	4年生(20人)	手前みそをつくろう	
02月28日	板橋区立高島第六小学校	4年生(94人)	水となかよし	

小学校では、寺子屋を除き板橋区内 3 校で新たな実践を行った。その結果、対象となった小学校は計 21 校（区内 20 校・区外 1 校）であった。区内小学校に関して、これまでの活動を総合すると、42 校で授業を実践しており、その広がりには約 81%に至っている。

志村	志村第一	志村第二	志村第三	志村第四	志村第五
志村第六	前野	中台	舟渡	新河岸	富士見台
蓮根	蓮根第二	志村坂下	北前野	緑	若木
板橋第一	板橋第二	板橋第四	板橋第五	板橋第六	板橋第七
板橋第八	板橋第十	金沢	中根橋	加賀	上板橋
上板橋第二	上板橋第四	常盤台	桜川	弥生	大谷口
向原	赤塚	成増	赤塚新町	紅梅	北野
成増ヶ丘	下赤塚	徳丸	三園	高島第一	高島第二
高島第三	高島第五	高島第六	天津わかしお		
2018年度 実施		2018年度 新規開拓		過去の実施	

※ 2018年度実施の滝野川第二小学校は北区立。

- 中学校・高等学校では、本年度、出張授業の取り組みは行わなかった。
- これらは、SOEのメンバーが中心になりながら、ボランティアに支えられて成り立っている。今年度は49回の活動で、延べ183人が参加した。1回あたりの参加者は3.7人で、昨年とほぼ同数となったが、より一層のスタッフの充実が求められる。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
回数	5	23	10	28	34	41	31	23	30	20	55	49
スタッフ数	-	-	54	130	147	179	98	73	88	53	206	183
1回あたり	-	7.4?	5.4	4.6	4.3	4.4	3.2	3.2	2.9	2.7	3.7	3.7

A.2 環境教育指導者（主体）養成事業

A.2.1 環境教育ボランティア・インターンシップ

- 環境教育指導者の養成事業を継続した。プログラムづくりワークショップを軸に、環境教育インターンシップ・ボランティアの受け入れ体制をつくった。
- 環境講座などを通じて、一般市民を対象とした環境教育ボランティアの募集も行った。

A.2.2 地域主体の支援（プログラムの共同開発ほか）

- 大学のゼミ活動など、環境教育の地域における担い手を育成する事業を継続する。本事業年度は、東京家政大学の宮地ゼミの支援が中心となり、みその仕込み体験なども支援した。

A.2.3 教員養成・教員向けの講座

- 環境教育に関わる資格講座として、7月31日に安全管理に関するASL養成講座を開催した。10人が参加し、野外活動などにおける安全管理の基礎を身につける機会となったほか、SOEのスタッフも多く参加し、保育園・小中学校やイベントでの環境教育の実践における安全意識の向上につなげることができた。
- 環境教育に関わる資格講座として、12月1日に水に関する環境教育の指導法であるプロジェクトWETのエデュケーター養成講座を開催した。12人が参加し、ピアティーチングなどの手法を用いた学び合いや、アクティビティの指導法を学ぶことができた。

本資格は、SOEが「水となかよし」の指導の導入でも用いる「驚異の旅」を指導するにあたっての必須資格となっており、本講座でSOEのスタッフが資格を取得したことで指導の拡大にもつながる活動となった。

- 9月7日に板橋区教育委員会の教員研修の一環として、「学校産のとうふをつくろう」を実施した。24人が参加し、食と環境とのつながりを考えるきっかけとともに、とうふづくりの指導法を伝えることができた。

A.3 環境教育協働推進事業（環境教育ネットワーク構築活動）

A.3.1 環境教育協働実践

- 長年にわたり赤塚城址公園のバッタ広場を管理する【水と緑の会】と協働し、生き物探しプログラム「そっとのぞいてみてみよう」のバッタ広場版を整備し、10月9日には板橋区立北前野小学校の3年生に対して出張授業を実施した。これはSOEが他団体との協働によりプログラムを開発した新たな取り組みであると同時に、区内の自然環境に親しんでもらうプログラムとして非常に意義深い活動となった。次年度以降の発展的な展開を視野に入れていく。

A.3.2 プログラムの共同開発

- 寺田が板橋区環境教育プログラム部会に参加。環境教育のプログラム研究開発に携わるとともに、センスオブアースの環境教育プログラムを周知する。

B 環境保全の事業

B.1 自然環境保全活動

B.1.1 ビオトープ保全活動

- 蓮根第二小学校のビオトープについて、引き続き、定例の保全活動に参加した。

B.1.2 ごみ拾い活動

- 全国一斉水質検査に参加し、新河岸大橋・浮間池の2か所の検査を行った。

B.1.3 緑地の保全・拡張に向けた活動

- 北野がいのちの森の運営委員として関わる。

B.2 地産地消推進活動

B.2.1 栽培活動

- 柳が中心に大豆・棉の栽培を進め、収穫物を出張授業・イベントへと活用した。

B.3 自然エネルギー推進活動

B.3.1 自然エネルギー普及活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C 社会教育の事業

C.1 エコツアー事業

C.1.1 沖縄・備瀬エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.1.2 三宅島エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2 自然観察会・各種環境講座

C.2.1 自然観察会

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2.2 環境講座

- 【3.11 から未来をひらく会】の事務局団体として、3月17日に映画「おだやかな革命」の上映会と、国際環境NGO FoE Japan 理事の吉田明子氏をお招きし、都会でもできる電気の選択などに関する講演会を開催し、180人が参加した。
昨年同様、エネルギー問題の現状について、参加者に深い学びの機会を提供したことはもちろん、センスオブアースが中間支援組織として発展するモデルケースとして、非常に大きな意義のある活動となっている。主催10団体・協力1団体と有志の個人が参加し、今後環境団体の横の協働へと発展する可能性を示している。
- 12月に板橋区との環境協働プロジェクトとして、みそづくりワークショップ「手前みそを作ろう」を実施。東京家政大学宮地ゼミの学生とともに、みその仕込み体験をセンスオブアースが主導したほか、東京家政大学ヒューマンライフ支援センター専門員の内野美恵氏をお迎えして、講演会「大豆パワー再発見！」を開催し、24人が参加した。
- 12月6日に公益財団板橋区文化・国際交流財団との協働で「とうふづくり体験会」を実施。とうふづくりの体験をセンスオブアースが主導し、24人が参加した。

C.3 各種イベント出展

C.3.1 イベント向けプログラム研究開発

- イベントのテーマや環境などを踏まえ、随時プログラムの準備を進めた。

C.3.2 外部イベント出展

- 4月に代々木公園でのアースデイと並行して開催しているアースデイ いのちの森に9年連続で出展。紙芝居をつかったネイチャーゲームなどを実施した。
- 5月に舎人公園にて開催された都民育樹行事に出展。東京家政大学宮地ゼミの学生とともに、生きものさがしのネイチャーゲームを実施。

C.3.3 板橋区協働イベント出展

- 4月に板橋区（緑と公園課）が主催するグリーンフェスタに出展予定も、荒天により出展見合わせとなった。
- 8月にエコポリスセンターが主催する夏休みエコスクールに出展。「ピカッと光る風力発電器を作ろう」というタイトルで、風力発電機づくりを実施した。
- 10月にエコポリスセンターで開催されたエコライフフェア秋に出展。他の団体との協働でタネにまつわる体験活動を提供した。
- 12月に板橋区役所で開催されたエコライフフェア冬に出展。パネル展示で、環境教育の取り組みを紹介した。
- 2月に環境なんでも見本市に出展。かざぐるまなどの工作活動を実施した。

C.4 板橋区指定管理者受託

C.4.1 板橋区立ボローニャこども絵本館管理業務委託

- 昨年度に続く受託となり、絵本館の受付業務を行った。年間296日午前・午後の業務を、13人のスタッフで遂行した。今年度を持って、委託事業は終了となった。

D 団体運営業務

D.1 組織運営

D.1.1 一般管理

- 5月に2018年度の年次総会を開催。活動報告・会計報告・活動方針・会計方針について報告し承認を得る。

D.1.2 理事・事務局関連

- 運営体制の強化に向けて、理事会を定期的で開催した。年間4回開催し、理事を中心としたイベントの運営体制の確立や活動の計画などを議論した。
- 事務局では、活動報告・会計報告に関して、書類を整理し報告にあたる。その他、運営・経理・広報などの事務局業務を随時行う。

D.1.3 会員関連

- 会員の呼びかけを進め、正会員数は47人、賛助会員数は12人となった。

D.1.4 記念活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

D.2 経理関係

D.2.1 一般会計

- NPO法人会計基準協議会の定めるNPO法人会計基準に基づいた会計処理を実施した。

D.2.2 助成金申請関連

- 2019年度に向けた助成金の申請などを行う。

D.3 広報関連

D.3.1 ニュース発行関連

- 8月を除く年間11回のニュース発行を実施。板橋区内の全保育園・小中学校や教育委員会・各種報道関係など、毎月約3,300部を発送した。

D.3.2 ホームページ関連

- オフィシャルサイトを定期的に更新し、イベントの案内や団体の周知を進めた。
- 特設ページ「SOEプログラムバンク」では環境教育のプログラムや資料などを発信した。
- Facebookページに関しても、随時更新した。

D.3.3 団体紹介

- センスオブアースの活動紹介資料を随時改定した。

D.4 渉外関連

D.4.1 協働推進関係

- 平成29年度からのエコポリスセンターの指定管理者変更を受けて、新管理者の板橋エコみらいプロジェクトの担当者と環境教育の協働や運営に関する意見交換を行う。計5回行い、速やかで発展性のある協働の出張授業のスタイルを作り上げることができた。